



配管の製造・溶接・据付を一貫して担う

技術に自信あり!!

品質検査で好評を得る確かな溶接技術

70名以上で稼働!!

柔軟に突発工事対応可能 全国各地の工事依頼に応える

安心 & 安全!!

品質、安全対策はもちろん アフターサービスを徹底

教育 & 育成!!

専任技術者により確かな指導 有資格者により信頼の技術

明るく元気に!!

笑顔あふれる元気な顔 一人ひとりが輝く職場づくり



シモオカプラントエンジニア 株式会社

工場・事務所：岡山県岡山市南区郡 3002

代表者：代表取締役 下岡 秀鷹

創業年：2016年12月12日

資本金：500万円



シモオカプラントエンジニア (株) 代表取締役

下岡 秀鷹

「やるならとことん上を目指して攻めていきたい。それが私のスタイルです」――。

自信がついてきたことで芽生えた挑戦心で以て、

周囲の反対を押し切り独立を果たした23歳のころも、

多くの従業員を抱えて配管工事の分野でさらなる実績を追い求める今も、

下岡社長のそのスタンスは同じだ。

「配管の溶接工事なら同業者に負けない自信がある」と強気の姿勢を見せる。

「やってみて駄目でも、得るものがある。考える暇があるなら動け」と従業員にも発破を掛け、従業員らと一枚岩となって攻め続け、食欲に上を目指し続ける。

「やるならとことん上を目指し、攻め続ける。
それが私のスタイルなんです」

攻



代表取締役

下岡 秀鷹

しもおか ひでたか：

岡山県岡山市出身。学校卒業後、18歳で配管工事の分野に入る。技術習得に励み、23歳で独立。個人事業主として実績を積み、『シモオカプラントエンジニア』を設立。人材の増員、建設業許可の取得を経て、体制強化を図っている。

うと、雇用主としての責任が生まれますし、人件費が必要となるなど経営面でのリスクも増えます。でもその責任とリスクを背負う覚悟を持たなければ、経営者としてステップアップできないのかもしれない。私は思い切って人を増やしたことで経営が好転しましたし、協力業者の従業員を含めると74名で動いています。良い従業員たちに恵まれて運が良かったですね。

優れた技術を持つ従業員たちの存在が
会社を成長へと力強く導く

——「企業は人なり」と言いますし、人材に恵まれていることが御社の成長を後押ししているようですね。

本当に、そう思います。配管工事と一口に言っても、配管の製造、溶接、据付と幅広いんですね。いずれかに特化した会社が多いのですが、当社は製造から始めて、溶接技術を習得し、ならば据付も自分たちで、とできる仕事を増やしてきました。自社で製造から据付まで一貫して手掛けられるのが当社の強みで、お

—— 周囲の反対を押し切って独立——
増員と仕事量増加の好循環で成長する

——『シモオカプラントエンジニア』さんは配管工事を手掛けておられると伺って参りました。下岡社長は、この分野一筋に歩んでこられたのですか。

ええ。18歳でこの分野に飛び込み、一筋に歩んできて今年で13年になります。配管工事会社に勤める学生時代の先輩に誘われて、最初はアルバイトとして働き始めたんです。現場仕事はハードでしたが、辞めたいと思ったことは一度もありませんから、性に合っていたのでしょうね。自分が独立して、経営者になる将来は想像もしていませんでしたが、経験を積むうちに自信もついてきましたね。それに、色んなことに挑戦したい性格なもので、思い切って23歳の時に独立。個人事業主として、一人でスタートしました。

——この分野に入られて5年ほど、しかも23歳という若さでの独立だったわけですが、周囲の反応や手応えはいかがでしたか。

この分野に誘ってくれた先ほどの先輩からは「無理がある」、周囲の人たちからも「やめておいたほうが良い」と反対されましたよ。でも、「自分でやってみよう」という気持ちが強く、独立に踏み切りました。すると、みんなの言った通り、スタート当初は仕事もなくて、厳しくて（笑）。でも、周りの反対を押し切って始めたことですから、やるしかありません。とにかく入ってきた仕事を丁寧にこなして、地道に実績を積み重ねていきました。そして、自分一人でスタートしましたが、4年ほどが経つころから人を入れるように。軌道に乗ったと感じられるようになった時には、5年が経っていました。一気に仕事が増え、それに伴って人も増やしたらまた仕事が増えてと、波に乗れたと言いますか。

——好循環が生まれたんですね。

ええ。いくら自分に技術があっても、一人ではできることが限られてしまいます。事業を手掛ける上では、人材を確保して、チームワークを育てることが大切なのでしょうね。すると、自然と規模の大きい仕事も巡ってきますから。人を雇

シモオカプラントエンジニア 株式会社



製造・溶接・据付を一貫して自社施工—— 自信の技術力で配管工事の依頼に応えたい

配管の製造、溶接、据付までを一貫して手掛ける『シモオカプラントエンジニア』。一般的に、いずれかの業務に特化する同業者が多い中、自社で一貫して手掛けられることが同社の強みだ。中でも溶接技術については、品質検査における評価も高く、全国各地の現場から声がかかる。本日は、女優の吉沢京子さんが同社を訪問し、下岡社長にお話を伺った。

お客様からも重宝されています。中でも溶接は高い技術力が求められますが、当社の従業員たちは腕が良いんですよ。溶接では、同業者に負けない自信があります。溶接工事の後には必ず品質検査があって、溶接部分のひびや割れが検知されたり、品質が基準に達していない場合にはやり直しが必要となったりするんですね。でも、当社はその検査での成績が良く、お陰様で全国各地から工事の依頼が入ってきます。吉沢さんがおっしゃっ

たように、従業員たちに恵まれたことが当社の成長を後押ししていますね。

——社長の教育が良いからこそなのでしょうね。

私が育てた従業員もいますし、もともと溶接技術に長けた従業員もいて、全員が高い溶接技術を持っています。技術だけでなく、人間的にも信頼できる右腕もおり、安心して現場を任せられる体制が整っているのです、これからは益々、楽しみです。

——では、今後についてはどのようにお考えですか。

製造、溶接、据付の中でも特に溶接技術に自信がありますが、近い目標としては自社工場を建てて配管製造にもさらに力を入れたいですね。そうして当社の強みである一貫体制をより強固にし、実績を積み重ね、皆で高みを目指し続けます。——私も応援させていただきます。本日は、ありがとうございました。

（取材／2017年5月）

column

「楽しく、生き生き働く従業員の姿が何より嬉しい」

「若い世代の職人離れが進んでいる」「若い人は長続きしない」などという意見が多く聞かれる現代だが、必ずしもそうではないようだ。「シモオカプラントエンジニア」の現場では若い従業員の姿が多く見られ、また同社の従業員には長く勤める人が多い。それも、従業員からは「うちの会社は楽しい」「協力業者からは『シモオカプラントエンジニア』の現場は楽しそうで活気がある」という声がよく聞かれるという。「楽しく働いてほしい」と思っているのも、本人たちからそんな言葉が出るのは嬉しい。他所からも楽しそうに見えるのは、もって嬉しいですね」と下岡社長は頬を緩める。

事業を手掛ける上では、「人を育て、チームワークを育てることが肝要」と考える社長。高い技術力を持つ従業員たちが、仕事の楽しさを共有し、共に生き生きと働く現場の様子が、そんな社長の考えがしっかりと実現されていることを物語っている。

吉沢京子

ゲストインタビュー



「下岡社長は、18歳の時にご結婚され、小学校6年生のお子さんがいらっしゃるそうです。23歳で独立され、スタート当初は苦労されたようですが、守るべき家族がいたことが原動力になったと振り返られました。家族の存在は、人に大きな力を与えるものですね」